

第二言語習得研究会全国大会

村上京子

研究会報告

2004年12月11日、12日第二言語習得研究会全国大会を共催した。当日参加者は260名を超え、大変盛会であった。

第15回 第二言語習得研究会全国大会
(留学生センター・第二言語習得研究会共催)

大会テーマ：コーパスを利用した言語習得研究
2004年12月11日 ~ 12日
名古屋大学シンポジオン(名古屋市千種区不老町)

プログラム

12月11日

- 13:00 開催校挨拶 末松良一センター長
- 13:10 【講演】
E. Kellerman 氏 (University of Nijmegen)
Hands across the ocean
The manual dimension of second language acquisition
- 15:00 【パネルディスカッション】
電子化コーパスを利用した言語習得研究
司会 村上京子(名古屋大学)
学習者コーパスを使った英語の習得研究
杉浦正利氏(名古屋大学)
会話データの分析 CHILDES について
宮田 Susanne 氏(愛知淑徳大学)
日本語作文コーパス
大曾美恵子氏(姫路獨協大学)
日本語会話コーパスの分析
KY コーパスを使った習得研究の概観
鎌田 修氏(南山大学)
- 17:00 【総会】
- 18:00 【懇親会】シンポジオン2階 ユニバーサルクラブ

12月12日

- 10:00 【講演】
中島和子氏(名古屋外国語大学)
児童・生徒のバイリンガル習得
- 【口頭発表】
- 11:30 日本語論説的文章における指示詞の使用
日本語母語話者と日本語学習者の「この」「その」
浅井美恵子(名古屋外国語大学)
- 12:00 言語転移の可能性と日本語の語彙習得
中国語の多義語“開”“看”の典型度に基づいて
加藤稔人(University of New South Wales)
- 13:30 語彙習得におけるインターアクションの役割
気付きを導くデバイスとしての役割を中心に
韓成求(早稲田大学大学院)
- 14:00 マレー語母語話者の「初対面の場面」における文体の習得に関して
来日前と来日後において
JAMILA MOHD
(名古屋大学大学院国際言語文化研究科)
- 14:30 日本語名詞修飾節の習得は普遍的習得難易度階層に従うか KY コーパスの分析から
大関浩美(東京大学留学生センター)
- 15:15 日本語中級及び上級学習者のコミュニケーション・タスク力分析 KY コーパスのロールプレイパートに着目して
安井朱美(南山大学生外国人留学生別科)
- 15:45 準備時間が口頭産出に与える効果
田島ますみ(中央学院大学)
- 16:15 日本語条件表現の習得に見られる普遍的側面と母語の影響 コーパス調査によるプロトタイプ性に基づいて
堀恵子(麗澤大学日本語教育センター)